

時間割コード	G2B4F501	開講年度	2026				
授業題目	地域課題PBL A (大規模・アクティブラーニング型)					担当教員	長野大学
英文授業名	Regional Problem-Based Learning[1.1] (Couse A)						
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	火曜・4時限	対象学生	ShinXiaコース選択者が優先，3年次以上
講義室				授業形態	講義	遠隔授業科目	
						備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	大学D P 学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力 [信州の活性化に係る知識・技能]に関して ・地域課題を自ら設定し、調査・分析を通じてその構造的背景を理解できるようになる。 ・自身の専門分野の知識・技能を活用して、課題解決の方向性を企画・提案できるようになる。 [信州の活性化に係る課題を発見・解決するための思考力・判断力・表現力]に関して ・他者との対話を通じて、多様な視点を統合しながら協働的にプロジェクトを遂行できるようになる。						
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営						
(3)全学横断特別教育プログラム	ShinXiaコース(ShinXia)						
(4)授業の概要	本授業は、地域社会が抱える具体的な課題を題材に、学生が自ら「課題設定」から「解決策の提案」までを行うPBL (Problem-Based Learning) 形式の科目である。 学生は、連携先の自治体・企業・NPO等から提供されるテーマに基づき、調査・対話・試行・提案のプロセスを実践する。教室での学習に留まらず、現場での活動を通じて多様な主体と協働し、地域活性化に資する実践的な能力（課題発見力・解決力・対話力）を習得することを目的とする。 本科目は共通の全体構造に基づき設計されているが、コースごとにアプローチ手法（モノづくり、フィールドワーク、ワークショップ等）が異なる。 本講座は、【 Aコース（大規模アクティブラーニング型） 】として実施する。						
(5)授業のキーワード	地域計画、都市地理学、地域間交流、公共政策、統計調査、観光研究（ツーリズム）、地域社会、社会福祉政策学、地域福祉、ボランティア						
(6)授業計画	第1回 オリエンテーション PBLとは何か、PBLの考え方、授業の進め方 予習課題として、事例コンテンツを10個ほど提示する 第2回 「問い」の立て方/その1 第3回 「問い」の立て方/その2 取り組みたい事例の希望提出 第4回 グループワーク（GW） グループの決定 自己紹介+なぜ、この中分類事例に興味・関心を持ったのかにかかる共有化 第5回 文理融合(横断)の学び 外部講師の招聘 第6回 GW テーマにかかる調べ学習 現状把握、疑問点や課題、問題点の洗い出し、各自の興味・関心の反映 第7回 GW テーマにかかる調べ学習 第8回 中間報告会 中間報告を通して、他グループの進捗状況を把握する PPTでの報告 Classroomでのデータ共有化 第9回 GW 疑問点や問題点にかかる議論 仮説を設定したり、解決すべき課題に向けて、現有の知識や情報で議論する 第10回 GW 疑問点や問題点にかかる議論 仮説の設定や解決すべき課題についてまとめる 第11回 GW グループで取り組む、解決すべき課題に対する具体的な対応 (調査、インタビュー、解決のための提案など)問題状況にかかる利害関係者として、思考・判断すること 現実の処方箋として、妥当性・信頼性・正当性があるものや、現実的に取り組みそうなのところの最適解が求められる。 第12回 GW グループで取り組む、解決すべき課題に対する具体的な対応 第13回 GW 成果発表にかかる打ち合わせ 必要に応じて正課外で活動を行う 第14回 成果発表～ようこそ地域課題パビリオンへ～ 150名の受講生が一同に集まり、25G(1G/6名)のパネル発表 成果発表は3人1組。発表する組(A/3名)と発表を聞く組(B/3名)に分かれる 15分(発表、質疑応答)×2回。(A)と(B)との入れ替わり。×2パターン=計60分 事例提供事業所作成者の招待 全体発表会(クロージング/まとめ)への準備 第15回 クロージング(まとめ)25グループ×3分 総括としての気づきをグループで発表 オンライン(対面でも勿論OK)で、事例提供事業所につないでおく・ポートフォリオの記入 授業アンケートを実施する 第16回 3大学間（信州大学、長野大学、佐久大学）連携での合同発表会						
(7)成績評価の方法	グループワークにおける取組状況(プロセス重視)(プロセス重視):30点 グループとしての成果物(パネル)とその成果発表:30点 個人としての学びレポート:30点 個人ポートフォリオ:10点 合計：100点						

(8)成績評価の基準	小テストの点数が90点以上の場合は「秀」、80点～89点の場合は「優」、70点～79点の場合は「良」、60点～69点の場合は「可」、59点以下の場合は「不可」とする。
(9)事前事後学習の内容	【事前学習】地域課題・テーマに関する調査、参考事例の確認 【事後学習】ポートフォリオの記録、学びの振り返り
(10)履修上の注意	グループワークが中心となるため、出席と積極的な関与が求められる。 正課外の学びが求められるれます。 チームとしての連携や協同、コミュニケーション、役割等が重要となる。
(11)質問、相談への対応	授業内容にかかる専門的な内容であればShinXia-LMSのフォーラム機能を用いて質問する。
(12)授業への出席	PBLへの出席、Gの参加、関与を持って行う。
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	「学修の補充の対象とする事由」により授業を視聴し課題を提出できない場合は共通教育履修案内に掲載されている方法により補充を受けるための申請を行ってください。
【教科書】	教科書は指定しません。
【参考書】	教科書は指定しません。必要に応じて、情報の提供を行います。